

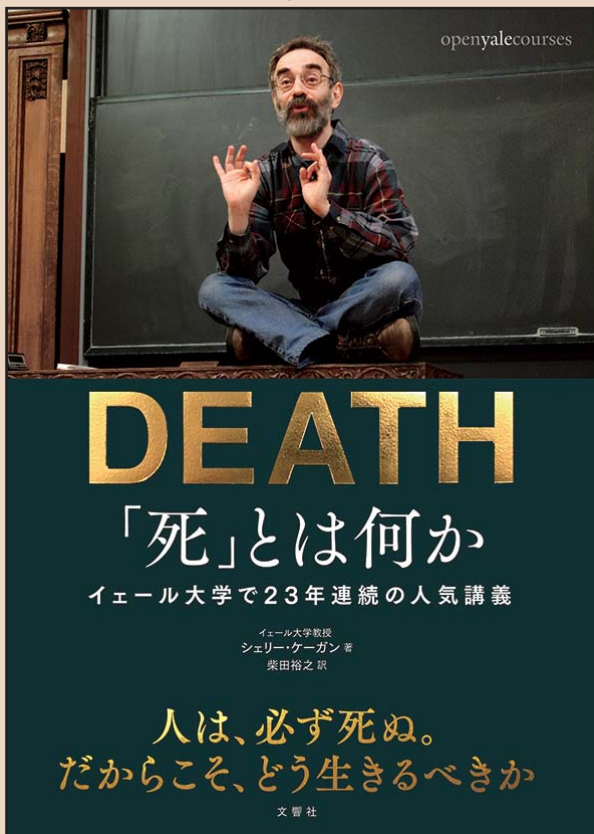
# イエール大学で23年間、連続開講！

# 大人気の講義がついに日本上陸！！

このたび、株式会社文響社では、『「死」とは何か イェール大学で23年連続の人気講義』（シェリー・ケーガン〔著〕、柴田裕之〔訳〕）を刊行いたします。本書は、イエール大学で23年連続で開講されている人気講義をまとめた1冊で、韓国や中国をはじめとするアジア圏で、累計25万部となっています。プレゼント企画・取材協力等もいたしますので、ぜひ、ご検討ください。どうぞよろしくお願いたします。

“教壇の上にあぐら”の  
授業スタイルが話題に

## Death (The Open Yale Courses Series)



### 「死」とは何か？

イエール大学で23年連続の人気講義

著者：シェリー・ケーガン

訳：柴田裕之

価格：本体 1,850 円+税

ISBN：978-4-86651-077-4

判型：A5判変形並製 384 頁

発行：文響社

#### <本書の内容>

- 人は、死ぬとどうなるのか
- 死への「正しい接し方」  
——本当に、恐れったり、絶望したりすべきものなのか
- なぜ歳をとるごとに、「死への恐怖」は高まっていく？
- 残りの寿命——あなたは知りたい？ 知りたくない？
- 「不死」が人を幸せにしない理由
- 「死ぬときはみな、独り」というのは、本当か
- 自殺はいつ、どんな状況なら許されるのか
- 死が教える「人生の価値」の高め方

#### 【著者】

Shelly Kagan (シェリー・ケーガン)

イエール大学教授。道徳哲学・規範倫理学の専門家として知られ、着任以来二十数年間開講されている「死」をテーマにしたイエール大学での講義は、常に指折りの人気コースとなっている。本書は、その講義をまとめたものであり、すでに中国、韓国をはじめ世界各国で翻訳出版され、25万部を超えるベストセラーとなっている。

#### 【訳者】

柴田裕之 (しばた・やすし)

翻訳家。早稲田大学、Earlham College 卒業。訳書に、マイケル・S・ガザニガ『人間とはなにか』（筑摩書房）、ジョン・T・カシオガ他『孤独の科学』、ユヴァル・ノア・ハラリ『サビエンス全史』『ホモ・デウス』（以上、河出書房新社）、フランス・ドゥ・ヴァール『動物の賢さがわかるほど人間は賢いのか』、ベッセル・ヴァン・デア・コーク『身体はトラウマを記録する』（以上、紀伊國屋書店）、ウォルター・ミシェル『マシュマロ・テスト』、マット・リドレー『進化は万能である』（共訳）（以上、早川書房）、ジェレミー・リフキン『限界費用ゼロ社会』（NHK出版）など多数がある。

# 余命宣告をされた学生が、 “命をかけて” 受けたいと願った伝説の授業、 ここに開講！

避難している防空壕に、手榴弾が投げ込まれました。  
手榴弾は爆発寸前ですが、あなた以外はまだ誰も気づいていません。  
あなたなら、どうする？



- ① 自ら手榴弾の上に身を投げ出して、犠牲となって、皆を助ける
- ② 手榴弾に一番近い人を蹴り飛ばし、犠牲となってもらって、皆を助ける
- ③ 何もしない（結果として爆発し、何人かが犠牲となる）

## シェリー先生からの問い

- ・ 一人だけ死ぬほうが、多くの人々が死ぬよりいいのか？
- ・ 「自殺」と「事故」の境界は何か？
- ・ 「殺人」はどんなときもいけないのか？
- ・ 誰の死も、等しく同じ価値を持つのか？
- ・ 「死んだほうがマシ」な人は、本当にいないのか？

月曜日、トムがジョンを銃で撃った。  
火曜日、トムが心臓麻痺を起こして死んだ。  
水曜日、出血多量でジョンが息を引き取った。  
このとき、トムはいつジョンを殺したと言えるだろうか？

## シェリー先生からの問い

- ・ 「ジョンが死んだ」のは、いったいいつか？
- ・ 「ジョンが殺された」のは、いったいいつか？
- ・ ジョンが死ぬか死なないかで、トムの罪の重さが変わるのはなぜか？

……ほか、  
「人生の質を  
高める問い」  
の宝庫

リリースのお問い合わせ

株式会社文響社 編集部 宮本沙織

〒105 - 0001 東京都港区虎ノ門 2-2-5 共同通信会館 9F

TEL : 090-9000-7216 / FAX : 03-5575-5051 / miyamoto@bunkyoisha.com